

令和 6 年度 下 半 期 指 定 管 理 者 管 理 運 営 状 況 シ ー ト

●施設の概要

施設名	長森児童センター	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市野一色4丁目11番4号		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日まで		
選定方法	☒ 公募 ☐ 非公募		
料金制	☐ 使用料 ☐ 利用料金 ☒ 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	16,158,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造平屋建 ◇敷地面積:1,297.26㎡ ◇延床面積:440.25㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書学習室兼集会室、おもちゃ図書館、事務室、駐車場		

●利用状況

		R6下半期	R6上半期	R5下半期	R5上半期	R4下半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	13,494	14,292	13,456	13,319	8,984
	移動児童館利用者数	443	124	366	248	283
各室稼働状況	移動児童館実施回数(単位:回)	※10(6)	※4(2)	※10(4)	※6(3)	※10(9)
	開館日数(単位:日)	151	154	151	155	151

※実施回数(施設未設置地区実施回数)

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①適正に実施している。 ②職員3人(所長、常勤職員2人)(保育士資格を有する3名幼稚園教諭、教員免許を有する1人の内1級児童厚生員1名、2級児童厚生員2名、レクリエーション中級インストラクター資格1名) ③エリア5校区(長森北・南・西・東・日野)小学校に依頼をし、データ配信をすることで、対象全児童(2,331人)が貸与されているタブレット端末にて閲覧できます。 ・野一色公園の掲示板にもイベントの案内の掲示をお願いしています。 ・澤田新聞店(中日新聞)の情報誌「長森かわら版」に「秋祭り・リノベーション」について11月号に掲載されました。 ・全国版のフリマサイトにて開催情報を掲載して、参加者を呼びかけました。(10月・3月) ・10月のフリーマーケット開催について岐阜市役所の記者クラブにお願いしてCGN放送から取材を受けてTVで開催案内を紹介されました。 3月のフリーマーケット時は、澤田新聞店(中日新聞)の情報誌「長森かわら版」の取材と、CGN放送にて開催案内、当日TV取材でその放送は再放送も含め10回程、また見逃し配信にて一週間放送されました。 ・ホームページ・Instagram(連動してフェイスブックともに動画投稿)にて情報発信をしました。 ・岐阜市子育て支援アプリ「母子も」を使い行事のお知らせをしました。(3回) ・地域の方向けに児童センターの紹介とボランティア募集のチラシ・行事のお知らせを5公民館に配架、掲示をお願いしました。(3回) ④ご意見箱を常時設置し、利用者からのご意見・ご要望をいただける体制としています。また苦情解決の仕組み・苦情の申し出先を館内掲示(玄関・ホールにて)することで苦情に対して適切に対応できる体制としています。 ・児童・保護者を対象にアンケートを1回実施しました。アンケートの結果(各100名分)は館内に掲示しました。 ・小学生対象に行事後に独自のアンケートを(下半期3回)行い、子供たちの今の気持ちを聞くことで年間を通し要望を把握して取り入れました。(スピード(トランプ)大会、カップスタッキング大会、小さい子と遊ぶ、工作など) ⑤仕様書、事業計画書に基づき事業を実施しました。
自主事業 提案事業		○10月・3月に野一色公園と合同でフリーマーケットの開催を提案し企画、受付事務局として取りまとめています。

施設管理	①施設設備の保守点検の実施 ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①管理点検マニュアルに基づき日常点検・消防用設備の点検・遊具設備及び建物点検等適切に実施しました。 施設の清掃は職員による日常清掃(当番制)と就労継続支援②事業所による週2回の管内清掃を実施。年3回の業者に依頼してのワックス掛け等(下半期2回)を実施しました。 玩具等は事務室での貸出物品は、毎回の消毒に心掛け、それ以外の玩具については使用頻度を見ながら不定期ではあるが、消毒をこまめに行い安心してご使用頂けるようにしました。また、12月から3月まではインフルエンザの感染対策も兼ね毎日各部屋のおもちゃや、部屋の消毒も行いました。 今期、図書学習室のエアコン2台のクリーニングを行いました。エアコン内部をきれいにすることで汚れや匂いもなくなり衛生的かつ効率的に運転できることで省エネ、電気代の軽減にもつながっていくので、今後計画的に進めたいと思います。 ③未使用の部屋の電気・エアコン等スイッチを切り適切な温度設定、フィルター清掃などを行い節電に努めました。 利用者からおもちゃの寄付(8回)をいただき活用することやおもちゃ病院を活用しておもちゃの修理をして使うことで、壊れてもすぐに捨てないで物を大切にすることを育てることに繋げています。 また、廃材募集のポスター掲示、声掛けをして集まったベットボトル及び牛乳パック・トイレットペーパーの芯・サランラップの芯を活用した制作(ラップの芯で掛け軸風お雛様の足型、トイレットペーパーの芯で落下傘の一部として使用などで、経費、環境に配慮した施設運営に心掛けました。(一般利用者、長森中学校から年間を通して頂きました。) ④月1回の職員による施設の安全点検・遊具の点検・AED器具の機能確認、毎日の消毒、清掃を行い、遊具設備の維持管理に努めました。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速・適切な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①緊急性のあるものは、岐阜市社会福祉事業団事務局及び岐阜市に即時報告して判断を仰ぎました。(幼児室のエアコン故障・ホール蛍光灯故障ともに迅速に対応していただき修理をしていただけました) ②建物等大規模修繕は、岐阜市社会福祉事業団を通して岐阜市へ要望を提出しました。(床・畳・トイレの手洗い場の水漏れ・ホールの床・ホールのエアコン)リノベーション工事で、幼児室・遊戲室の工事をしていただき畳から絨毯に切り替えや、模様替えをすることで、利用者からも大変好評との声を頂いています。また予算の都合でリノベーション工事に含まれなかった棚の塗装については、汚れが目立っていたので見栄え良く安全な材料で補修し、児童センターの予算の範囲内で塗装することで一段と部屋全体がきれいになったと利用者から喜びの声を頂いています。 遊戲室の南側の階段などタイルやコンクリートが少しの衝撃で欠けたので、点検をして危険がないよう児童センターの予算内でコンクリートでの補修工事を行いました。
危機管理 法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	岐阜市社会福祉事業団個人情報保護規程、災害マニュアル、児童福祉法等関係法令を遵守し適切に実施しました。 ①個人情報記載された用紙は、使用後は全てシュレッダ処理を行い個人情報の漏洩防止を徹底しました。 ②災害や事故が発生した場合には、岐阜社会福祉事業団並びに岐阜市へ迅速に報告する体制を構築しました。また下半期1回消防訓練を実施(2月)、非常用備品の確認も同時に行い期限の確認と不足品の補充も実施しました。マニュアルに沿った適切な対応及び消防訓練を実施し警察・消防への適切な対応の徹底と警備会社との連携をしています。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	<保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート> 期間: 令和6年12月3日～令和7年1月17日 回答者数: 100人 <小・中・高校生用アンケート> 期間: 令和6年12月3日～令和7年1月17日 回答者数: 100人(小学: 1年8人、2年15人、3年7人、4年19人、5年19人、6年12人) (中学: 1年7人、2年4人、3年6人)(高校: 1年1人、2年0人、3年0人)、無回答2人
利用者アンケートの実施結果	<保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート> 【校区】 長森東22人、長森北22人、長森西20人、長森南15人、日野5人、華陽3人、梅林2人、その他市内4人、その他市外4人、無回答3人 【年齢】 10代(0%)、20代(16%)、30代(54%)、40代(15%)、50代以上(15%) 【利用頻度】 初めて(8%)、ほぼ毎日(4%)、週2～3回(6%)、週1回(23%)、2週に1回(19%)、月1回(24%)、その他(16%) 【来館相手】 子・孫(80%)、友人(1%)、その他(7%)、無回答(12%) 【子・孫の年齢】 0歳(15%)、1歳(24%)、2歳(24%)、3歳以上(29%)、無回答(9%) 【来館方法】 徒歩(15%)、自転車(11%)、自家用車(73%)、その他(1%) 【何で知った】 ホームページ(34%)、広報誌・チラシ(3%)、学校(2%)、保育所・幼稚園(2%)、知人・友人(30%)、ぎふし子育て応援アプリ(2%)、ブログ・SNS等(8%)、その他(17%)、無回答(3%) 【評価】 (あいさつ) 満足(91%)、ほぼ満足(6%)、普通(3%)、やや不満(1%)、不満(0%) (言葉づかい) 満足(91%)、ほぼ満足(7%)、普通(2%)、やや不満(0%)、不満(0%) (利用者対応) 満足(88%)、ほぼ満足(8%)、普通(4%)、やや不満(0%)、不満(0%) (利用しやすさ) 満足(75%)、ほぼ満足(22%)、普通(3%)、やや不満(0%)、不満(0%) (整理整頓) 満足(87%)、ほぼ満足(11%)、普通(2%)、やや不満(0%)、不満(0%) (清潔感) 満足(83%)、ほぼ満足(12%)、普通(5%)、やや不満(0%)、不満(0%) (換気) 満足(80%)、ほぼ満足(16%)、普通(4%)、やや不満(0%)、不満(0%) <小・中・高校生用アンケート> 【学校名】 長森北小42人、長森西小20人、長森中18人、長森東小8人、長森南小4人、芥見小3人、その他市内1人、市外1人 【学年】 小学: 1年(8%)、2年(15%)、3年(7%)、4年(19%)、5年(19%)、6年(12%) 中学: 1年(7%)、2年(4%)、3年(6%) 高校: 1年(1%) 無回答(2%) 【利用頻度】 初めて(8%)、毎日(2%)、週4・5回(4%)、週2・3回(18%)、週1回(21%)、その他(47%) 【来館相手】 ひとり(8%)、友人(66%)、兄弟姉妹(11%)、父母(13%)、祖父母(2%)、親戚(0%) 【来館方法】 徒歩(34%)、自転車(40%)、自家用車(25%)、バス・電車(0%)、その他(1%) 【好きな遊び】 ドッジボール(23%)、卓球(15%)、ぬりえ(9%)、ボードゲーム(9%)、カラム(9%)、サッカーゲーム(8%)、マンカラ(6%)、シルバニアファミリー(4%)、その他(17%)
利用者からの要望・苦情と対処・改善	<保護者> ○乗り物が体育館エリアにあると遊びにくい。体育館エリアに入りやすとより良いかも。 →お子様同士の接触や転倒によるケガ等の危険も考慮し、乗り物は遊戯室のみの使用とさせて頂いております。平日の午前中は小中学生もいないので、比較的遊戯室を利用しやすいかと思っております。来館時に予約も出来ますのでお気軽に事務室にお声掛けください。 ○駐車場がもっとあると嬉しいです。 →ご不便をお掛けしております。駐車場につきましては只今検討中です。当センター道路沿いの駐車場が満車になりましたら建物前の空いている駐車スペースへ誘導させて頂いております。ご理解、ご協力を宜しくお願い致します。 ○すぐおもちゃが見やすく遊びやすいです。 ○こわれているおもちゃがあるので直して欲しいです。 →修理可能なものは職員や「おもちゃ病院」で修理しております。 壊れているおもちゃがありましたら職員にお声がけ頂けると助かります。宜しくお願い致します。 ○おもちゃの電池のないものを入れてもらえるとうりよいです。 →電池式のおもちゃには電池を入れるようにしました。恐れ入りますが動きが弱くなった、動かない、音がおかしい不都合がありましたらお声掛けください。対応させて頂きます。 ○トイレもきれいです。 ○何年も使っていて汚れが気になるおもちゃがあります。(おもまごとなど) →ご指摘ありがとうございます。昨年末にままごと、ボードゲーム等の一部を新しく購入しました。 是非ご利用ください。今後のおもちゃの清拭や消毒をして清潔、安全を心掛け定期的に新しいおもちゃを購入して行きたいと思っております。 ○リノベーションされて、より使いやすくなった。 ○おもちゃをかんだあとがあるのかきになります。消毒してくれているとおもいますが…。 →ご指摘いただき有難うございます。噛んだあとのあるおもちゃは見付けしだい下げたり交換したいと思っております。”

利用者からの 要望・苦情と 対処・改善	<児童> ○楽しい →楽しい行事を毎月企画しています。気軽に遊びに来てください。 ○暇なときスマホいじりたい。 →親御さんの連絡ややむを得ない事情による持ち込み、及び使用は禁止していませんが、児童センターでは遊戯室で身体を動かしたり、本を読んだり低学年のお友達とのふれあいを楽しんだり、行事に参加したりして楽しんでほしいので、スマートフォン使用は控えてください。管理については、お家の人と相談して自分で管理出来る範囲で持って来るようお願いします。 ○これからもイベントを沢山やって欲しい →皆さんにワクワク、ドキドキしてもらえる様なイベントを企画していきたいと思いますので是非遊びに来て下さい ○工作 →お家でも楽しめる様、身近な素材を使った工作や季節に合わせた工作等、楽しい工作の時間を企画しています。 一緒に色々な作品を製作していきましょう。 ○小さい子との交流の機会になると良いです。 ○飽きた →玩具や本を定期的に入れ替えたり、新しく購入したり色々な行事(工作○運動遊び○イベント等)を目指して日々努力している所です。是非、皆さんの「やりたいこと」「好きな事」を教えてください。一緒に体験をして楽しい児童センターを作って行きたいと思っています。 ○カードゲームを増やして欲しい →どんなカードゲームか、教えて欲しいです。今後、検討していきたいと思います。 ○シルパニアの種類を増やしてほしい →人気があるので、今後検討していきます。 ○走らない →部屋やホールで走って遊ぶのは危険なので、遊戯室で思いっきり遊んでください。
------------------------------------	---

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定 管理者	所管課	評価 委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	S	S	S
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表 ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	S	S	S
		区分評価				S
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用（設置目的）を最大限発揮するものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業（行事）等の実施	S	SS	SS
		④利用者ニーズ、苦情などの把握方法、対応方策及びサービスの質を確保するための体制	・利用者アンケートの実施 ・利用者ニーズ・苦情・クレームへの着実な対応・運営への反映	S	S	S
		⑤利用者に対するサービス向上の方策（窓口対応、プロモーション、設備の整備など）	・移動児童館の実施 ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	S	S	S
		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	S	S	S
		⑦施設の効用（設置目的）を最大限発揮できるスタッフの配置	・過不足ない適正な人数配置、無理のない職員体制	A	A	A
		区分評価				S
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	A	A	A
		⑨管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施（リサイクルやリユース、節水・節電など）	S	S	S
		区分評価				S
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	⑩組織及びスタッフ（採用予定者も含む）の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員（施設が児童センターの場合は体育指導員）を1人以上配置（このうち最低1人は常勤職員とすること）	A	A	A
		⑪スタッフ（採用予定者も含む）の管理、監督体制	・職員の連携体制、職場環境の整備	A	A	A
		⑫スタッフ（採用予定者も含む）の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	S	S	S
		⑬リスクへの対応方策（利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど）	・危機管理（リスク）や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	S	A	A
		区分評価				A
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域（以下「地元」という。）の振興、活性化などに貢献できるものであること	⑭地元の法人その他の団体の育成（一部業務の再委託先）、地元住民の活用（雇用又はボランティア等）	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	S	S	S
		⑮地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加（地元行事への参加）又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	S	S	S
		区分評価				S

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組み に対する評価	□利用者アンケートの実施(公平性透明性①) 多くの方の声を聞くことで運営に反映できるように保護者児童ともに100名からの声を聞きました。 保護者用(100名) 幼児クラブの参加者だけでなく、一般に利用されている方や、小学生に付き添ってみている方からの声も聴くことで年齢も幅広い層からの様々なご意見ご要望をいただくことができました。「第1子が生まれた時、子供と2人きりで過ごす時間を つらく感じる事があったのですが、この児童センターに毎日のように来て、ゆっくり過ごすのがとてもありがたく救われまし た。いろいろな年齢の子供と同じ空間(ホールや中央の場所で過ごすのがとてもありがたく救われました。)」と毎日の生活 に児童センターの存在に重きを置いて頂けた方。また中にはクラブでの要望や、おもちゃについてなども細かく書いていた だき今後の参考にさせて頂き、改善できることなど、見直して多くの利用者の方に愛されるよう努めていきたいと思います。 小学生用(100名) 行事に参加した児童や、自由来館した子の児童センターに対して思うことを素直に書いていただきました。 児童館の好きなところ・行きたいと思った理由に「楽しい」「友だちがいるから」「遊びたかった」「暇だから」が上位を占め「遊 ぶところがない」「外遊びにつかれた」「雨だから」「野一色公園の隣だから」と公園で遊ぶのと並行して児童センターを利用 する子が一定数います。子どもたちはうまく室内遊びと外遊びを使い分けてそれぞれの居場所として機能していることが判 りました。 小学生に独自のアンケート(3回) 行事の参加後に「今興味があること」「やって欲しい行事」を書いて頂きました。今その時の子どもたちの声を大切に、行事 などに活かしています。(トランプのスピードの大会をしてほしい・小さい子と一緒に遊びたい、カップスタッキング大会をもっ とやってほしいなど)自分の希望がかなった時、子供たちはとても喜んでくれます。独自アンケートの日に限らずやってみた いことを自ら話に来てくれる子もいます。そんな一人ひとりの声を聞いてできる限り活かすようにしています。 □広範で適切な情報提供、広報活動の実施(公平性透明性2)(効果性⑥) ・公式ラインの活用(再掲②③⑤) ・各団体との共同行事「秋だ！祭りだ！リノベーションだ！多世代交流ハッピーフェスタ」の開催(再掲②④) 「ライオンズクラブ」からの共催の話をいただき一緒に行事を行うことになりました。また「子どもたちの要望があった秋祭 り」、そのころを予定していた「老人会との交流会」、「絵本コーナーの新設リノベーションのお披露目イベント(その中で交 通安全協会役員による読み聞かせ(中学生読み聞かせボランティアを含む)」これらすべてを合わせて1つの行事として開 催しました。また他の登録済みのボランティアにも呼び掛けた結果「個人の方4名」「長森中学生」「岐阜東高校生」「小学生 のボランティアスタッフ」の参加もありました。各部屋、屋外を使いコーナー遊びを行いました。大イベントになるというこ とで、駐車場も野一色公園や長森中学校の協力も仰ぎ借用する事で大きな混乱はありませんでした。ライオンズクラブの方 をはじめ各担当者がいろいろとアイディアを出していただけました。同時に担当者とは公式ラインを通じて情報共有し、確 認等スムーズにできました。お祭り参加者は総勢247人で大盛況でした。当日には岐阜新聞、中日新聞長森かわら版の 取材もあり記事にさせていただきました。 ・登録制幼児クラブの参加者や行事の申込者(保護者)を対象に、長森児童センターの公式ラインの登録を呼びかけまし た、(登録者と児童センターの1対1のやり取りとなるため、他の登録者へ情報漏えいすることはありません)登録すること で、持ち物の連絡や写真の送信をスムーズに行うことができました。保護者からはクラブの欠席連絡や、今日参加したクラ ブの感想など書いて頂ける方もあり大変好評です。一般行事で登録された方も、様々な問い合わせ等に気軽にラインを活 用していただいています。 ・10月のフリーマーケット時もライン登録後に要綱や申し込み用紙を送信しておくことで来館せず詳細を確認して頂きまし た。開催までにはそれぞれに楽しみにしている様子を書き込んで下さる方もあり、楽しみにしている様子がうかがえました。 雨天時の対応など数日前から微妙な天気だったのでライン、インスタグラムやホームページなどSNSを最大限活用し情報 を共有することができました。開催後も御礼や次回の開催の要望など全員から送っていただきとても充実した楽しい時間を 共有することができました。 ・3月のフリーマーケット時には10月に参加していただいた方(途中でキャンセルされた方も含めて)フリーマーケットで公 式ライン登録していただいた方全て(23名)に開催情報を送りました。半分以上の方が今回も楽しみにしていて予定が合 えば参加したいといった内容のラインをいただきました。当日まで出店者に連絡やチラシ、地図などを送信することで手軽 に連絡し合うことができました。開催後も次回「来年度の予定は？」「フリマの仲間ライングループを作ったから次回の日に ちが決まったら教えてほしい」と次回への期待の声を頂きました。 ・インスタグラムによる広報宣伝活動の充実(再掲②⑥) インスタグラムを導入したことにより、多様な手段で幅広い年齢層に、スピーディーに情報を提供できることとなりました。よ り親しみやすいインスタグラムの提供になるように、また内容についても職員間でチェックし合いより良い内容になるように 努めました。(下半期投稿回数98回、フォロワー295人) ・ホームページでの情報提供 ホームページの更新、最新情報を提供しました。(下半期更新回数11回)台風による休館のお知らせも迅速に行いました。 ・全児童館・児童センターの案内をおたよりに掲載(再掲②⑥) 毎月発行している乳幼児と保護者向けおたよりの裏面に、岐阜市内すべての児童館・児童センターの所在地を地図上で 記載しました。これにより、普段利用している児童館以外の児童館・センターを知っていただくきっかけとなりました。 ・「ツナグテ」利用者へのPR(再掲②⑥) 毎月発行しているおたよりを「ツナグテ」のチラシ受けに置いていただき、「ツナグテ」の利用者にも長森児童センターのPR を行うことができました。毎月おたよりを持参していますが、以前よりチラシの減り方が多くなっているため、持参枚数を増 やしました。(毎月10枚⇒15枚) ・岐阜市子育て応援アプリの活用 行事のお知らせに活用しました。(骨盤体操・子育て講演会) そちらを見て参加、問い合わせをしていただけた方もありました。 ・おたよりのデータ配信(再掲②⑤) 毎月発行している小学生向けおたより「あそぼっけ」を、担当エリア小学校(長森北・長森南・長森西・長森東・日野)に依頼 をして学校よりTeamsにて各家庭に配信をしていただき担当校区全ての児童(2,331人対象)が、貸与されたタブレット端末 で長森児童センターの情報をいつでも閲覧できます。 ・公民館等にイベントのチラシを配架・掲示依頼 地域の方にも参加していただける行事の案内「ボランティアの募集」「スプリングフェスタ(フリーマーケット)」を担当エリア5 公民館(長森北・長森南・長森西・長森東・日野)長森コミュニティーセンターにお願いしました。そのチラシを見て行事に参加 していただけた方がありました。
--------------------------	---

今期の取組み
に対する評価

・情報紙に掲載やCGN放送にて紹介
澤田新聞店(中日新聞)の情報誌「長森かわら版」に児童センターで開催された「ハッピーフェスタ(リノベーション他も含む)」についての記事が12月号に掲載されました。
・フリーマーケットの募集に全国フリマガイドにて登録し呼びかけました。
また、10月のフリーマーケットの出店者募集の案内を子ども支援課に依頼をして、記者クラブに依頼をしました。CGN放送がエリアトピックスの週末イベント情報として前日に3回放送していただきました。
当日取材の様子も再放送を含め10回程度、見逃し配信にて1週間配信されました。

□業務改善や工夫(効果性③⑤)

・10月のフリーマーケットの見直し
広報が行き届いていなかった(近所の人に知らなかった、ポスターに気が付かなかったと言われた)ので公園や児童センター周りなど目立つようにポスターを貼りました。また今回は出店者や利用者にもポスターを渡したり貼っていただけるところをお願いしたところ、前回知らなかったという方もあちこちでポスターを見ましたと言われたり、出店者の方も今回のポスターを見たところをラインで報告していただけるほどに楽しみにして頂いているようです。
また内容もフリーマーケットだけでなく集客につながるように、イベントやキッチンカーも依頼し、駐車場も前回より多く受け入れできるように対応しました。
フリーマーケットの会場内に児童センターの活動報告とリーフレットを用意し自由に閲覧していただきました。
・サイエンスショーの開催
これまでの開催実績、各児童館からの要望、子どもたちのショーでの反応から、「子ども参加型で、実験・体験・驚きを感じられるもの」など、ショーの内容を見直し、子どもたちが自ら体験し、驚き・どよめき、科学に対する興味・関心を高めることができました。
・幼児室とおもちゃ図書館の部屋の変更
幼児室のリノベーションで読み聞かせコーナーを作っていただくこととなりましたが幼児室の方が狭いので、おもちゃ図書館を幼児室に変更しそれに伴いリノベーションをしていただきました。その結果幼児室の読み聞かせのコーナーもゆったりとでき多くの親子に読み聞かせの場の提供ができました。
・読み聞かせコーナーの手作り絵本立て
牛乳パックを使いカラフルで安定した絵本立てを作りました。紹介したい本の表紙を見せて立てることで、より興味をもって絵本を手にとってくれるようになりました。また素材が牛乳パックなので、子どもが触っても安心してみていられます。自分で好きな絵本を立てている子もいます。
・合同行事「秋だ！ 祭りだ！ リノベーションだ！ 多世代交流ハッピーフェスタ」の開催
ライオンズクラブからの共催の話をいただいたこと、他にも予定していた行事や子どもたちの要望、リノベーションのイベントと立て続けにあり初めは分けて考えていましたが、全部まとめて行うことで盛大且つインパクトがあるイベントにする事ができました。

□新規事業(行事)等の実施

・野一色公園にて「フリーマーケット」と「スプリングフェスタ」を同時開催(10月 3月)(②③⑤⑥⑭)
野一色公園の指定管理者SNkkホールディングに声をかけて、共催しました。担当者と何度も打ち合わせをして出店に関する規約からひとつずつ決めました。受付は児童センターが窓口となり、公式ラインにて出店者と綿密に連絡を取りあいました。10月の反省(天気が悪かったこともあるが出足が悪かったので、広報をもっとした方がよいとの意見)をもとに3月にはフリーマーケットだけでなく別イベント「スプリングフェスタ」も同時に開催しキッチンカー3台依頼、富田学園吹奏楽演奏会、ライブイベント、ママゴスベルなど集客につながるよういろいろな方の協力を経て開催をすることができました。その結果、出店者、イベント演者も含めて総勢700人の集客を得ることができました。
・岐阜県警本部 連れ去り防止教育班「たんぼぼ」講習会(再掲③⑬)
「たんぼぼ班」による連れ去り防止は、通常小学校や幼稚園・保育園で行われることが多いと聞きましたが児童センターで保護者の方も一緒に聞いてもらうことで、最新情報や注意点などを共有し家族で話題にすることで、親子で意識していただくことを狙いとして行いました。上に兄弟がある方からも「やっているのは知っていましたが内容は知りませんでした」との声を聞きました。子どもたちの年齢に合わせて簡単な内容に変えていただき保護者向けの話もありとても有意義な時間でした。「プライベートゾーン」についても話していただき保護者の方も真剣に聞かれていました。
・人形劇を観る会
「人形劇団一期座」に来ていただき目の前で生の人形劇を観ていただきました。人形が音楽やせりふに合わせて動く様子に不思議そうに観ている子、お母さんにしがみつきながら観る子と様々な表情でしたが、最後大きなカブの時には参加型で一緒に前に出て引っ張るところに進んで手を上げて親子で楽しそうに大きな声を出していました。多くの方にまた人形劇を観たい、楽しかったと言う感想をいただきました。
・絵本のローテーションの実施(再掲③⑤)
岐阜市が購入した幼児向け絵本20冊の内10冊を原則1か月単位で当事業団が管理する9施設でローテーションを行いました。これにより、各施設では毎月さまざまな絵本に触れることができる機会を提供することができました。

◎子どもたちの主体的な活動の場、話し合いの機会等の提供を行ったか。

・「子どもスタッフ」の活躍
今年度前期より発足した年間登録の「子どもスタッフ」(リーダー的な存在になる子の育成)で、毎月2回の活動日を設けて普段の行事やお祭りの内容検討、お祭り時には子どもたちの希望を出してもらい「もぐらたたき」を作成し祭りを盛り上げてくれました。3月には希望の活動を出してもらい(天窓の飾り)を子供たちだけで考えて何週間もかけて完成してくれました。皆「来年度も子どもスタッフになりたい！」と言ってくれました。
・進行も子どもたちの「長森ショータイム」
毎月1回「長森ショータイム」(人前で何か披露する会)で、それぞれに得意なことや見てもらいたい事など、「今度は何をやるか」と友達同士で話している姿があります。司会も自分たちで行うことも定着し今学期はイラストレーターのボランティアの方に似顔絵を描いていただくコーナーもできたのでその抽選方法も新たに進行として加わり、複数の司会者の場合は事前に打ち合わせをしている姿も見られます。発表者がいないときには子どもたちに、司会や出し物を職員からお願いすることもあり、そのような場合にも快く引き受け短時間の打ち合わせでも上手く対応してくれる子が多くなりました。12月は高校生の子が司会者としてボランティアに来てくれましたが、出演者がいないというと簡単手話講座を行ってくれました。自己紹介ができる様にと、指文字を丁寧に教えてくれて、手話に興味を持った子もいました。幼児親子も一緒に参加される方もありました。(手話に興味のでたのか指文字表のプリントも全員持って帰りました。)

今期の取組み
に対する評価

・保護司による「子供がハードルを越えていくためには」ミニ講演会第2弾
「子供がハードルを越えていくためには」をテーマにお話ししていただきました。マイクを使用し窓を開放することで他の部屋で遊びながらも聞いて頂ける様に工夫しました。講師による自分の失敗談から学んだことや、今子育て真っ最中のお母さんにぜひ聞いてほしい内容などをわかりやすくお話をしていただきました。会の終わりに、先生にぜひ聞いてほしいと、今の悩みを打ち明けている方もありました。(2名)
当日は託児にボランティアの方に来ていただいていたのですが、その方が、「自分もわからないままの子育てだった、20年前にこの話を聞いていたらよかったな、もっと多くの人にこのような経験談が聞ける場があるとよい」という感想をいただきました。

□利用者のニーズ、苦情、クレームへの着実な対応、運営への反映

・利用者アンケートでのご意見(再掲①③④)
利用者アンケートでご意見をいただいた内容について、センターの運営に反映できるものはすぐに実行・改善しました。
また、実行できないものについてはその理由を説明し、ご理解をいただけるよう努めました。
・独自のアンケートから活かす(再掲①③④)
定期のアンケートや独自アンケートより出た内容の中から取り入れ可能なものを行事や購入しました。(カップスタッキング大会・工作・おもしろい運動会・小さい子と遊ぶ・スピード大会)を取り入れました。
・利用者アンケートでのご意見(再掲①③④)
利用者アンケートでご意見をいただいた内容について、センターの運営に反映できるものはすぐに実行・改善しました。

◎配慮を必要とする子どもへ適切な対応を行ったか。

・不登校児の居場所
小学生、中学生で不登校の子も遊びに来ます。学校に行っていないことを話してくれる子、そうでない子といます。その子に合った対応で居心地が良い空間になるように心がけ、遊びに来てくれた時には声をかけ近況を聞きます。どこかに出かけるときに寄って来て「これから〇〇に行く」など教えてくれる子もいます。今後はエール岐阜にもつなげていきたいと思えます。

・子どもの居場所づくりの推進(再掲④⑬)
長森児童センターでは前年度から長森中学校学校と協力して「校内フリースペース」の一環として、児童館を不登校児童生徒の居場所としての活用をしていただいています。毎月の予定表を渡し参加可能な活動を選び無理をしないでその子のペースを大切にしています。(下半期は遊具で遊んでもらうことに加え幼児クラブでの手強い3回を予約していましたが予定していたが当日キャンセル)今学期はお便りから参加できそうなものを選び担当の教員と打ち合わせをしましたが参加はかかないませんでした。受け入れ態勢は万全にしています。
・児童発達支援ディ・放課後ディサービスからの団体利用(再掲④⑬)
9か所の児童発達支援ディサービスから下半期19回の利用がありました。
既存の施設に紹介されたと前期は4か所でしたが新規に4施設増えて(紹介や、子どもからのリクエストにて)利用していただきました。お便りやInstagramを見て一緒に参加できる行事を事前にチェックして参加していただける施設もあります。

□利用促進や利用者増に繋がる方策の実施

・絵本のローテーションの実施(再掲③⑤)
・Instagramによる広報宣伝活動(再掲②⑥)
昨年度からタブレット端末を活用したInstagramを導入したことにより、多様な手段で幅広い年齢層に、スピーディーに情報を提供できることとなりました。上半期には、動画や音楽などを活用し、新たなアプリも導入しより親しみやすいInstagramを提供する様に努めました。(下半期投稿回数109回、フォロワー308)
・「ツナグテ」利用者へのPR(再掲②⑥)
毎月発行するおたよりを「ツナグテ」のチラシ受けに置いていただき、「ツナグテ」の利用者にも長森児童センターのPRを行うことができました。
・全児童館・児童センターの案内をおたよりに掲載(再掲②⑥)
毎月発行している乳幼児と保護者向けおたよりの裏面に、岐阜市内すべての児童館・児童センターの所在地を地図上で記載しました。これにより、普段利用している児童館以外の児童館を知ってもらうきっかけとなりました。
・幼児クラブ申し込み連携
登録制幼児クラブで定員を上回る応募があり、残念ながら抽選に漏れてしまった方に対して、他館の幼児クラブに空きがある場合、幼児クラブを紹介できる体制を構築しました。

□管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水、節電など)

・ボランティアによる樹木の剪定(再掲⑨⑭)
前年度より地域のボランティアの方による剪定や、草取りをしていただけています。中庭にある3本ヤマモモの木の新剪定と草取りなど下半期2回来ていただけました。今回、シロアリで腐食している部分を見つけ伐採していただけました。
・寄付物品・遊具の活用
利用者の方から使わなくなったおもちゃをいただきました。「小さいころにお世話になったから」「リサイクルショップに持って行ってもお金にならないのでここで使ってもらえるものがあれば、使えないものは持って帰ります」「もう見なくなった絵本を処分しようと思っていたが、子どもが昔ここに遊びに来ていたのを思い出して連絡しました。」など昔遊びに来ていた方などや、以前児童センターに寄付された方からの紹介で連絡をされてきた方もありました。使用には差し障りない良いものをいただきました。(乗り物、人形・ブロック・キャラクターもの・知育玩具など)
工作に使用するためトイレトーパーの芯やラップの芯を集めています。わざわざそれだけを届けに来てくださる方もあります。工作等いろいろに活用しています。
・ふれあい花壇の活用(再掲⑤⑨)
岐阜市役所都市建設部が実施しているふれあい花壇団体に登録し、花壇に植える花を無償で提供していただき園地に彩りを添えることができました。下半期はパンジー120株とチューリップの球根30個を頂き、子ども達と一緒に植えました。自分たちが植えた事で特に愛情がわくのか来館時に自分の植えた花に声を掛ける子、チューリップの球根が土から飛び出ているのを見つけて他にも出ているかもしれないと見回り整えてくれる子もいました。
花植えを行ったことお花に興味を持ち五感を刺激するとともに、優しさや命の大切さにもつながるのではと期待しています。「早くチューリップ咲かないかな」と子どもたちからも聞こえる会話、この活動に参加する子も徐々に増えています。

今期の取組み
に対する評価

・経費削減に繋がる方策
エアコンの設定温度は、子どもたちの熱中症対策・健康管理を優先しました。エアコンのフィルター清掃、不在時のオフを実施し効率的な運転に心がけました。
使用していない部屋のこまめな消灯に努めました。
当法人内の就労継続支援B型事業所による施設清掃を実施し支出を抑えました。(再掲⑨⑭)
市の施設等の出前講座やボランティアを活用することで、講師料の大幅削減に努めた。(※岐阜市立図書館司書による職員研修講師*岐阜県レクリエーション協会より「道具レンタル」*岐阜県警本部タンポポ班による連れ去り防止講習会*放送大学清流コースによる童謡を広める会*地域幼稚園の職員による遊び
個人では月1回英語教師による英語教室(エンジョイEnglish)・月1回イラストレーターまあぼさんによる[「長森ショータイム」に出演しライブペイント)
フリーマーケット時のイベント(マモゴスペルの歌・富田学園吹奏楽演奏会・イラストレーターまあぼさん)全て無償ボランティアでした。
前年度より地域のボランティアの方による剪定や、草取りをしていただけています。中庭にある3本ヤマモモの木の剪定と草取りなど下半期2回来ていただけ、剪定料の削減になりました。剪定時にシロアリで腐食している部分を見つけて伐採していただきました。

□職員の資質向上を図る研修の実施または研修会への参加(安定性安全性⑫)

職員研修の充実
・職員スキルアップ研修会
(6月～1月、4回開催、下半期は2回開催) 各児童館・児童センター職員1名以上が参加
10月23日:日光児童センター 10名参加 内容:けん玉ショーとけん玉の実技指導
11月14日:長森児童センター 10名参加 内容:絵本の読み聞かせのポイント(講師:メディアコスモス司書)
・こどもの人権研修会
2月21日:事務局
講師:岐阜市役所人権啓発センター職員
参加:7名
内容:こどもの人権について
・BCP(業務継続計画)研修会
10月18日:事務局
参加10名(児童館・児童センター)
内容:BCP自然災害編と感染症発生時編の内容について
・虐待防止研修会(再掲⑫⑬)
1月23日:事務局
参加10名(児童館・児童センター)講師:岐阜県障害者権利擁護センター所長
内容:児童虐待とは、何が虐待を招くのか など
・情報セキュリティ研修
12月6日
講師:民間企業職員
内容:メール誤送信、情報漏えい対策など。

□リスク防止対策の実践(安定性安全性⑬)

・業務継続計画(BCP)の作成と運用
感染症(新型コロナ感染症等)感染者が施設内で発生した場合、また、自然災害(大規模地震や洪水等)が発生した場合に施設職員がとるべき行動を定めるとともに、平時から円滑に実行できる準備を定めた業務継続計画の感染症発生時編と自然災害編を作成し、運用を始めました。
・感染症対策オンライン研修会
当事業団すべての職員を対象にオンラインでの感染症対策の研究会での講義を聴き知識を得ることができました。
・虐待防止委員会
当事業団児童館・児童センター所長9名による虐待防止委員会児童部門を開催。各施設での事例を参考に虐待防止に向けた対応策について研究しました。
・虐待防止研修会(再掲⑫⑬)
虐待防止研修会を開催し、児童館児童センター職員として子どもの虐待防止に向けた適切な対応ができるよう取り組みました。
・電子メールの誤送信対策の徹底
長森児童センターでは、メールアドレスを他者に漏洩することがないように電子メールを使用して一斉配信をする際は、自動的にBCCに変換できるソフトを導入し、対策しています。
・子どもの居場所づくりの推進(再掲④⑬)
・児童発達支援サービスからの団体利用(再掲④⑬)
・子育て中のお母さんに寄り添ったミニ講演会(再掲⑬⑭)
保護司をされている方に「やる気を引き出させる わが子がハードルを越えていくために」をテーマにミニ講演会を行いました。マイクを使用し窓を開放することで他の部屋で遊びながらでも聞いて頂ける様に工夫しました。失敗談を交えながら、今小さい時期だからこそやってほしい関わり方などわかりやすく話して頂けました。開催後には数名のお母さんが残って先生に相談をされていました。
・岐阜県警本部 連れ去り防止教育班「たんぽぽ」講習会(再掲③⑬)""
・子ども110番の家の登録(再掲⑬⑮)
子どもが助けを求めた際、その子どもを保護し、必要により警察、学校、家庭などへ連絡するなど、地域ぐるみで子どもたちの安全を守るため、子ども110番の家に登録しています。下半期に表示プレートが破損したため交通安全課に連絡して担当小学校より新しい表示プレートいただき設置直しました。
トイレを借りたい、傘を貸してほしい、など子どもたちのニーズに応えました。
・大規模災害対策
これまで、飲料水や非常用菓子を大規模災害対策のため備蓄していましたが、これらに加え、新たにヘルメット、フリーズドライの食糧を備蓄しました。
・インフルエンザ等の感染症対策消毒
冬季インフルエンザなど感染症流行期に各部屋の消毒の強化をしました(12月から3月毎日おもちゃと部屋に消毒を噴霧しました。(貸出し部品については年間通して消毒を行っています)

今期の取組み に対する評価	□地元の諸団体との連携、交流 ・各団体との共同行事「秋だ！祭りだ！リノベーションだ！多世代交流ハッピーフェスタ」の開催(再掲②⑭) 「ライオンズクラブ」からの共催の話をいただき一緒に行事を行うことになりました。また「子どもたちの要望があった秋祭り」、そのころを予定していた「老人会との交流会」、「絵本コーナーの新設リノベーションのお披露目イベント(その中で交通安全協会役員による読み聞かせ(中学生読み聞かせボランティアを含む))」これらすべてを合わせて1つの行事として開催しました。また他の登録済みのボランティアにも呼び掛けた結果「地域の個人の方4名」「長森中学生」「小学生のボランティアスタッフ」の参加もありました。各部屋、屋外を使いコーナー遊びを行いました。大イベントになるということで、駐車場も野一色公園や長森中学校の協力も仰ぎ借用する事で大きな混乱はありませんでした。 ・SNkkホールディング(野一色公園管理者)との共催(再掲②⑭) フリーマーケットの共催を提案し10月と3月に行いました。 10月は午前中フリーマーケット、午後からオータムフェスタ(例年開催)を計画しましたが、雨のため途中で中止となった、参加者等の要望もあり3月に再度開催、スプリングフェスタ(今回初)も同時に開催。SNkkホールディングの担当者と会議、メール、ライン等で何度も協議し開催しました。前回の反省をも元に検討を重ねて行った結果、出店者、イベント演者を含めて総勢700人の集客を得る大きなイベントを開催することができました。 ・長森中学校・富田学園にボランティアのお願い 長森中学校・富田学園と連携を取り全生徒にデータ配信で行事のお手伝いの呼びかけをしていただいています。(下半期各校3回) ・主任児童委員の会議場所に提供 長森北南西東・日野地域の主任児童委員の会議の開催場所として児童センターを利用していただいています(年間5回中下半期3回)毎回児童センターからのお願いや行事についてなど一緒にお話をさせていただく中でボランティアの募集についてのチラシの配布や掲示など毎回快く引き受けてくださいます。今回長森東地区において、フリーマーケットの案内を地域に回覧の手配もしていただきました。 ・富田学園高等学校生と乳幼児のふれあい開催 高校生8人と乳幼児親子(登録制ビヨビヨクラブ)8組とで交流しました。初めに職員によるふれあい遊びをしてから高校生と親子がおもちゃで一緒に遊びながら自由に話をしたり抱っこをしたり45分ほど交流しました。高校生の感想文には、「やっぱり子供っていいな、育ててくれたお父さんお母さんに感謝しかないです。」「今まであまり知ることができなかったお母さんの悩みやかわいい赤ちゃんの姿を知ることができてとてもうれしかったです。」「育てることの大変さ、うれしかったことなど聞くことができました。私は子供にかかわる仕事に就きたいと思っています。貴重な経験ができました。」など、保護者から「わが子の将来など想像しました。」「高校生と話す機会はないのでとても楽しみにしていました。」「お母さんの思いをいっぱい話しました。」などの感想を頂きました。今回風邪のため欠席された方から、「参加したかったから本当に残念です」と言われました。もう少し時間や回数を増やして多くの方に参加していただけるよう検討していきたいと思います。 ・富田学園「夢を語る会」の講師依頼をいただきました 去年参加したキャリア教育の一環として中3・高1の生徒にいろいろな職業を知り、進路選択に対する考えを深めるために多種多様な職業人の話を聞く会に今年度も児童センターについて紹介する機会をいただきましたが、主催事業(10月フリーマーケット)と同日だったため、残念ながら参加できませんでした。 ・放送大学清流ハーモニー「童謡を広める会」との交流 放送大学の生徒さんと登録制の幼児クラブの親子と交流をしました。童謡・唱歌と一緒に歌いその情景や歌詞の意味などを教えていただきました。 ・楽器をならして合奏や、カエルの歌の輪唱などで楽しみました、平均年齢が70代の生徒さん幼児さんとの交流を楽しみにして来て頂けました。 ・岐阜県レクリエーション協会より、遊具借用 児童センターにはない高額なレクリエーション用具(ディスクゲッター・ふらばーる・キンボール)を借用して行事に活用しました。子どもたちにも大人気でした。(下半期2回) ・岐阜市立中央図書館より派遣 図書館司書の方に児童館職員研修の講師として来ていただきました。読み聞かせについてなど注意する点や実践もありとても丁寧に講義をしていただきました。団体カード等の情報もあり今後の活動にとっても参考になる事ばかりでした。 □地元の団体・住民との協働事業等の実施 ・親子ふれあい教室への開催協力(再掲⑭⑮) 長森北地区をはじめ、長森南・長森西・長森東・日野校区の親子ふれあい教室やのサポートなどや移動児童館として訪問し、職員による様々な遊びを体験していただきました。 □地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用 ・当法人内の就労継続支援B型事業所による施設清掃を実施しました。(再掲⑨⑭) ・子育て中のお母さんに寄り添ったミニ講演会(再掲⑬⑭) ・地域の個人でのボランティア ・ボランティアによる樹木の剪定(再掲⑨⑭) ・ボランティアによる花壇の手入れ他 小学生の保護者の方で、花壇の手入れやセンター内のチラシの整理、パズルの剥がれなど見つけて修理していただける方がいます。「ありがとうと言っていたらとすごく自分が幸せな気分になります。」と来館されると何か見つけて作業して頂けます。(下半期3回) ・ボランティアによる幼児クラブ等の託児 ボランティア募集のポスターを新たに公民館や野一色公園に掲示をお願いした所その案内を見て、幼児クラブ時の託児や、行事の手伝いに来て頂けています。(下半期10回) ・ボランティアによる英語教室(ロビー先生のEnjoy English) 地域の方からの紹介で、外国人ボランティアによる英語教室を毎月1回来ていただきました。 ・ボランティアによるライブペイント(模造紙にその場で8分ほどで絵を描く) 毎月「長森ショータイム」にイラストレーターの方がライブペイントで参加(今期は抽選で似顔絵を描いて頂いています)
--------------------------	---

今期の取組み に対する評価	□地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)(貢献性⑮) ・長森北公民館文化祭に出展 公民館は乳幼児からお年寄りまでの幅広い利用者があるので、多くの方に児童センターを知っていただける良い機会なので児童センターの行事や幼児クラブなど写真を使い分かりやすくまとめたものを掲示しました。文化祭後に訪ねてきていただけた方もあります。 ・資源分別回収の協力 長森中校区の資源分別の協力として段ボールや雑誌などを提供しています。(下半期1回) ・岐阜版アダプトプログラムへの参加 職員が児童館周辺道路の清掃活動を定期的実施する、岐阜版アダプトプログラムに参加しています。 清掃活動は、毎週木曜日の朝実施しています。 ・子ども110番の家の登録(再掲⑬⑮) □地元の団体・住民との協働事業等の実施 ・親子ふれあい教室への開催協力(再掲⑭⑮) ・岐阜市中地区交通安全協会長森北支部との連携 昨年度より交通安全協会長森北支部の「読み聞かせの会」をサポートしています。今年度は岐阜東高校生や長森中学の生徒にも呼び掛けて、絵本を読んでもらう機会を作り交通安全啓発活動に取り組んでいます。(下半期2回) 来年度に向けて募集し、顔合わせをして練習会も行いました。
前回までの意見を 踏まえた取組み状況	□長森ショータイム等、子ども、一人一人が主役となるイベントが開催されており、評価できる。 子どもたちにも定着して、司会進行も進んでやってくれる子が増えました。また発表もお願いすると、友達を誘い本番までの時間、練習している姿が見られます。 □近隣の中学校と連携し、児童センターをフリースペースとして利用し、幼児クラブのお手伝いにも参加してもらう等、子どもの居場所づくりに取り組んでいる。 今年度は利用が少なかったが、担当の教員と連携して、参加できそうな行事をお便り等で確認し合うなど進めました。 □児童発達支援を担う団体からの利用が多く、隔てがない利用の確保に努めている。 「紹介された・利用者からのリクエスト」など「ここが良い」と言っていた後期は9か所から19回の利用をしていただけました。行事と一緒に参加していただくなど、お便りや、インスタグラムもチェックしていただくように声を掛けました。
今後の取組み	□中学との連携を強化し「校内フリースペース」の充実に努め、参加したいと思えるようなメニューや活動を用意し受け入れ態勢を整えています。 □小学生が乳幼児と遊ぶ機会を設けることで、赤ちゃんの愛らしさ、命の大切さなどを感じる機会を設けると同時に保護者には、わが子への愛情の再確認、我が子の成長をイメージする機会を設けます。 □子どもたちの意見を尊重し活動できる機会を増やします。

●所管課の意見

- 日ごろから、各団体と協力・連携を図り、児童センターの取り組みを行っている。
- そうした連携を基、各団体と協力し、大きなイベントを開催し成功させるなど地域に根差した児童センターとなっている。

●指定管理者評価委員会の意見

- ・野一色公園等と連携して、フリーマーケット等のイベントを主催として企画・運営を行い、児童センターの認知度向上に加え、地域の賑わい創出にも寄与した点は非常に評価できる。そのため、「既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施」の評価項目はSS評価が妥当である。是非、他の児童館・児童センターにも情報提供し、波及させていただきたい。
- ・通常の来館アンケート以外にも、子どもたちからやってみたいことや行事について意見を聴取し、活動に反映しようとしている点は評価できる。
- ・業務においては予算内に収めることを意識取り組んでいただきたい。